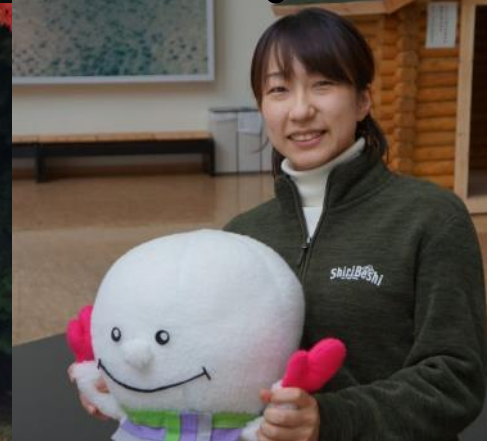




HOKKAIDO
YOUNG
PROFESSIONALS
GO ON
THEIR
JOURNEYS

明日の北海道をつくる。



道職員活躍事例集（中堅職員編）
「その道の、プロへ。」 vol. 2
～目指せ！次代のプロフェッショナル～

HOKKAIDO-Young Professionals Go on their Journeys

「その道の、プロへ。

～目指せ！次代のプロフェッショナル～」

この活躍事例集は、各所属・職員のご協力により、道職員のロールモデルについて、インタビューやメッセージなどを取りまとめたものです。

これまで、女性編（①～④）、派遣編（①～④）、両立支援編（①～③）と、仕事と子育てを頑張っている職員や、様々な派遣先で活躍する職員の紹介を行ってきました。

今回は、様々な行政フィールドの最前線で活躍している中堅職員（一般行政職）に、これまでの業務や勤務地での思い出を語っていただきました。

若手職員の皆さんには、キャリア形成の具体的なイメージの参考として、また、これから北海道職員を目指す方々には道職員として働くことの魅力について、さらに一層の理解を深めていただけることを願っています。

H29.12.12 総務部人事局人事課



01-総務部北方領土対策本部北方領土対策課企画振興グループ	主事 平田 香	3-4
02-環境生活部文化・スポーツ局スポーツ振興課スポーツグループ	主事 菊池 麻美	5-6
03-経済部労働政策局雇用労政課就業支援グループ	主任 高橋 典子	7-8
04-水産林務部森林環境局道有林課道有林管理グループ	主任 那須 貴洋	9-10
05-建設部建設政策局建設管理課工事管理グループ	主任 三谷 圭弘	11-12
06-出納局会計管理室経理課公金管理・国費グループ	主任 村岡 麻美	13-14
07-後志総合振興局地域創生部地域政策課市町村係	主任 飯田 佳奈子	15-16
08-オホーツク総合振興局網走建設管理部建設行政室建設指導課	主任 吉村 伊織	17-18
09-釧路総合振興局産業振興部農務課生産振興係	主任 石塚 隆浩	19-20

総務部北方領土対策本部 北方領土対策課 企画振興グループ

主	事	
ひら	た	かおり
平	田	香

(29)



H19.7 * 総務部北方領土対策根室地域本部 企画振興グループ 兼根室振興局 地域創生部北方領土対策課企画振興係

初任地では、北方四島交流事業や補助金などを担当しました。四島交流事業は、四島在住ロシア人と日本人が相互に行き来し、住民交流会や施設視察などを通じて、相互理解と友好を深めるために実施しています。日本人側が四島に行く事業を訪問事業、四島在住ロシア人を北海道本土などに招く事業を受入事業といいます。私は受入事業で、事前調整や当日の同行などを担当していました。事業は1回が概ね5日間の日程なので、全日程に同行したときはとても大変でした。事業当日にトラブルが発生することも多く、その度に右往左往していましたが、このときの経験や苦労は、その後、さまざまな場面で活かすことができ、とても勉強になりました。

*現在の組織名で表記しています。

H25.4 胆振総合振興局 苫小牧道税事務所 事業税間税係

→総務課 総務係

道税事務所では、軽油引取税の課税や免税事務、不正軽油（軽油引取税の脱税を目的に製造された燃料）の取り締まり検査を行っていました。1年だけの担当でしたが、今まで全く関わりのなかった業務だったので、どれも新鮮でした。総務課では、取り扱う業務の種類が多かったため幅広く学ぶことができ、今の業務の中でもこの経験は役立っていると感じています。

H29.4 総務部 北方領土対策本部北方領土対策課

今年度から、5年振りに北方領土対策事務に戻り、**企画振興グループ(現職)**根室で担当していた補助金を本庁の立場で再び担当することになりました。補助金の基礎知識はもちろん、地域事情など当時の知識を活かしていると思います。

●印象に残っている業務

根室勤務時代に、元島民の方から「元島民が描いた紙芝居がある。当時の島の営みが分かる貴重な資料で、眠ったままにするのはもったいないので、ぜひ世に出してあげたい。」と相談を受けました。紙芝居は、色鮮やかな絵の具で描かれた味のある絵と、絵の場面がどういうシーンなのか説明する文もありました。そのお話を受け、担当主幹と、私を含む若手職員で絵をデータ化し、方言などの雰囲気は残しながら文章を起こし、関係団体の方の御協力を得てDVD化することができました。当時の独特な言い回しのほか、方言がたくさん出てきて、文章を解読するのが大変でしたが、完成したDVDを元島民の方々に披露したときの皆さんの懐かしそうな顔や、絵が切り替わり、文章が読まれる度に、近くの席の方と楽しそうにおしゃべりしている姿は今でも忘れられません。

北方領土のイメージキャラクター
「えとぴりか」の「エリカちゃん」
中にはなんと私が…



）休日の過ごし方

根室勤務のときは、よく同期と管内の温泉や道内各地に旅行に行っていました。胆振のときは、平日の忙しさに負けてしまい、休日はゆっくり過ごすか、残務処理に追われていましたが、ときどき地元のお祭りにスタッフとしてお手伝いに行っていました。現在は、根室勤務時代の同期が何人か札幌にいたので、女子会をしたり、友達と札幌市内や近場へ観光に出かけたりしています。

）同僚たちとの関係

根室は、公宅が密集していて、近くにはバーベキュースペースのある大きな公園がありました。職員レクリエーションで野球大会や潮干狩りに行った後、お昼にみんなで焼き肉を食べ、暗くなったら近くの公宅に集まり2次会、というのがいつものパターンでした。ビールがなくなれば、ジャンケンで負けた人（当時の支庁長がジャンケンに弱くて…）が買いに行ったり、所属に関係なく、みんなが和気あいあいと楽しんでいました。高校卒業後すぐ、地元の苫小牧から遠く離れた勤務地になり、慣れない環境でとても不安でしたが、所属の垣根を越えて、公私ともにいろいろな方が気にかけてくださり、とても感謝しています。

＼上司のお家でタコスパーティー！／



）異動を経験して…

所属が変わると、「また一から勉強か…」とってしまいますが、やり方や考え方は共通する部分が多く、業務分野は違っていても、これまでの経験を活かせる場面はいくらでもあると思います。どんな業務であろうと、自分次第で次につながる経験になると思うので、少しでも自分の経験値として蓄積できるよう、今後も意識を持って業務に向き合っていきたいです。

）今後どのような職員を目指していきたいか

北方領土対策業務は、経験とともに地元の状況が分からないとなかなか厳しい部分があると思うので、私のこれまでの経験を活かし、引き続き北方領土対策業務に携わっていきたいです。さらに今後は視野を広げるためにも、いろいろな業務分野も経験しつつ、更なるステップアップを目指したいと思います。

環境生活部 文化・スポーツ局 スポーツ振興課 スポーツグループ



主	事
きく	ち
菊	池

あさ	み
麻	美

(27)

H26.4 後志総合振興局 地域政策部地域政策課 地域政策係(採用)

後志では、主に「地域振興に関わる仕事」を担当していました。具体的には、市町村や地域の団体への補助制度（地域づくり総合交付金）や過疎地域自立促進計画の策定に係る業務や、公式Facebook「え～ぞ・しりべし」を活用した地域の魅力発信などですが、このほか課内や他部署とを調整する仕事も多くありました。パソコンと向き合う時間もたくさんありますが、地域に赴き、その土地を肌で感じ、魅力や実状を知って、それを仕事に活かす、ということが多い部署でした。

H29.4 環境生活部 文化・スポーツ局スポーツ振興課

スポーツグループ（現職）

現在は、北海道に縁のあるスポーツ選手を講師に招いて、小学生向けに陸上競技、カーリングやスケートなどのスポーツを体験してもらう「スポーツチャレンジ教室」や、保護者も一緒に参加できる「ペアレンツ・スクール」などを北海道各地で開催しています。これは、子どもたちに色々なスポーツと触れ合う機会を提供し、スポーツに興味を持ってもらうという目的があります。スポーツ分野は、2020年に東京オリンピック・パラリンピック開催を控えていることもあり、とてもやりがいのある仕事だと感じています。

公務員の仕事は、事務作業が中心というイメージでしたが、様々なジャンルの部署があり、自分で考えて創っていく仕事がたくさんあります。時期によっては残業が続くこともありますが、色々な分野の仕事に取り組めることが魅力だと思います。

●印象に残っている業務

後志で担当していた「地域づくり総合交付金」を通して、地域がやりたいことに目に見える形で応援できるということは、すごく貴重な経験だったと思います。地域から寄せられる「こんなイベントをやりたい」、「こういう建物を建てたい」など多種多様の要望に対応することは、他部署との調整も必要となることから幅広い知識が必要とされ、とても大変でしたが、微力でも市町村の皆様のためになっていると感じられるやりがいがある仕事でした。

経験と知識のなさから、失敗もたくさんしましたし、地域の皆さんや仲間フォローしていただく場面も数多くありましたが、その経験も含めて、これからの業務に活かしたいと思っています。



）休日の過ごし方

後志で勤務しているときは、休日に家でじっとしていることはほとんどなく、管内の有名な観光地や、まだあまり知られていない穴場スポット、おいしい食べ物など、地域の魅力を知るために外に出かけることが多かったです。季節や天候に関わらず、みる景色すべてが魅力的で、それを公式Facebookで紹介し、広く知ってもらえることも喜びのひとつでした。また、自分と無関係だった地域がどんどん自分の知っている地域に変わっていく週末がすごく楽しみでした。

）同僚たちとの関係

後志管内は、自分には縁がない地域だったので、最初は生活面でも仕事の面でも不安でいっぱいでしたが、職場の仲間とお酒を飲みながら、色々な話をしたり、休みの日は同期と一緒にバーベキューや地域のお祭りに出かけたり、たくさん支えてもらいました。お世話になった先輩や同期とは、異動で働く地域・部署が別々になった今でも連絡を取り合って、悩みを聞いてもらったり情報交換したり、助けてもらっています。

＼休日に同期と倶知安町旭山キャンプ場でBBQ／



）異動を経験して…

倶知安町から札幌市に初めての異動を経験し、引っ越し準備や仕事の引継ぎなど大変なことは確かにありましたが、新しい場所で新しい仕事に挑むということで、また新たな気持ちで仕事と向かい合うことができると思います。

また、「住めば都」という言葉は本当にその通りで、住めばその地域のいいところがたくさん見つかると思います。異動によって、道内の色々な人と出会い、地域を知り、自分にとって特別な場所が増えるということは、道職員の魅力だと思います。

）今後どのような職員を目指していきたいか

自分が将来どうなりたいかというのは、正直まだ具体的にイメージができていません。今はただがむしゃらに仕事に打ち込むことを大切にしていますが、女性としては、これから経験する(予定の)結婚・出産・子育てなども将来の楽しみのひとつでもあるので、きっと働き方はどんどん変わっていくのだと思います。これから、どんな仕事・立場になっても、それまでに培ってきた経験と人とのつながりを大切に、責任感と思いやりをもってやり遂げたいと思います。

経済部労働政策局 雇用労政課 就業支援グループ



主	任		
たか	はし	のり	こ
高	橋	典	子 (31)

H18.5 * 根室振興局 総務課 総務係 (採用) → 需品係 → 経理審査係

最初の職場では、総務と会計事務を経験しましたが、どの所属・業務でも共通して必要となることから、基本的な知識を学ぶことができ、とても勉強になりました。

*現在の組織名で表記しています。

H23.6 オホーツク総合振興局 産業振興部商工労働観光課 労働係

オホーツクへ転勤となり、代表係を経て、希望して **→観光室観光振興係** いた観光に関する業務を担当することになりました。たくさんの観光関係者との出会いがありましたが、どの方からも地域を盛り上げたいという熱意やアンテナの高さを感じ、また、仕事に対するその姿勢に大変影響を受けました。

H27.6 北海道立総合研究機構産業技術研究本部

道総研へ派遣となり、工業試験場における **ものづくり支援センター** 研究成果の広報業務を担当しました。展示会への出展や成果集の作成が主な業務でしたが、観光業務で経験したイベント運営やHP・メルマガによる情報発信などのノウハウを活かせましたし、多くの仕事を任せてもらえたため、やりがいを感じていました。

H29.4 経済部労働政策局雇用労政課 就業支援グループ(現職)

現在は、若年者の就職支援に関する業務を主に担当しています。就職という人生の大きなイベントを迎える方々をサポートするという重要なこの仕事を、今までの経験で活かせることはないか振り返りつつ、また新たな気持ちで頑張っています。

●印象に残っている業務

観光の仕事をしていた時、道民の方からの依頼で管内の観光パンフレットを郵送する際、「当管内へのお越しをお待ちしています」という手書きのメッセージを添えていたのですが、そのことについて後日、「いわゆるお役所仕事ではない温かさを感じて嬉しかった」という御礼のメールをいただいたことがありました。

それまでは、内部管理的な業務ばかりだったこともあり、自分の仕事はどう道民につながっているのか実感できずにいたのですが、この件を通して自分の仕事の先に道民の方がいること、その方まできちんと届くような仕事をすることの重要性を再認識し、「何が、どのように道民のためになるか」ということを常に意識して仕事に取り組めるようになりました。



）休日の過ごし方

おいしいものを食べるのが好きなので、そういう情報をキャッチするとあちこち出かけていました。いずれは転勤するため、「今を逃すともう食べられないかも！」と必要以上に食べ漁ってしまうのですが、道すがら観光地や温泉巡りもして、食べた分だけその町に詳しくなり、観光の仕事にも活かせました。あと、道東は地域柄、移動手段がほぼ車だったので、運転にも慣れました。飛び出してくる鹿には慣れませんでした…。

）同僚たちとの関係

職場レクや地域のイベントに積極的に参加していたこともあり、あちこちで思い出と人のつながりができました。飲み会にもかなり誘っていただき、ことあるごとに参加していたのですが、そういった場で普段なかなかできない相談に乗ってもらい、思いがけず解決した件も少なくありません。また、公宅に住んでいたのも、私生活の面でも助けてもらえる人が近くにいたなど、あらゆる面で周りの方に助けられて何とか今までやってこられました。

＼オホーツク時代の同僚たちと地域イベントに！／



）異動を経験して

いろいろな場所に住めてラッキー！と思っています。転勤しなければ一生行くことがなかったマチもあると思うので。同じ管内でも、マチによって雰囲気や食文化が全然違ったり、いつも新しい発見があっておもしろいです。また、環境が変わることで、仕事にも新たな気持ちで向き合うことができるので、いい機会だと感じています。

）今後どのような職員を目指していきたいか

過去に私の手書きのメッセージに御礼をくださった方の「いわゆるお役所仕事でない」という言葉が強く心に残っています。淡々と仕事をこなすだけでは形式的で事務的な対応になりがちですが、その言葉を忘れず、どんな仕事にも丁寧に向き合い、相手の気持ちに寄り添って考え、対応ができる職員を目指したいです。忙しい時はつい疎かにしがちですが、自分の仕事の先には、常に道民の皆様がいるということを肝に銘じて、職務に邁進しようと思います。

水産林務部 森林環境局道有林課 道有林管理グループ

主	任		
な	す	たか	ひろ
那	須	貴	洋 (33)



H16.5* オホーツク総合振興局 東部森林室管理課 管理係(採用)

道職員に採用されてから、2箇所の森林室（採用当時の名称は「森づくりセンター」）と本庁で道有林管理業務を担当しています。道有林とは、北海道が整備及び管理している山林で、全道で約61万ヘクタールあります。

初任地は北見で、保安林（森林法で伐採などが制限されている山林）の指定などの申請図書作成や物品購入などの会計業務、立木の伐採を契約どおりに履行されたか確認する財産管理業務を担当していました。

森林室では、事務仕事から野外作業まで業務の内容が幅広く、山林内ではスズメ蜂や熊を警戒しながらの仕事や急な斜面を登りながらの作業など、体力的に大変なことも多々ありますが、新鮮な空気を吸うことができたり、山頂からの景色が望めたりと多くの経験ができました。

*現在の組織名で表記しています。

H22.4 十勝総合振興局 森林室管理課 管理係

浦幌町にある森林室へ異動になり、境界線（山林の境目を示す標識）の保全業務や公共事業などにもなう土地貸付料算定や現地確認、契約業務などを担当しました。土地貸付で新規案件の場合、過去の事例などを調査し、上司や本庁から助言をもらいながら対応しました。土地の貸付は、年度単位での契約が多く、更新月である3月上旬から4月上旬に業務が集中していました。

H27.6 水産林務部 森林環境局道有林課 道有林管理グループ(現職)

現在は、公共事業などで支障となる立木の補償額算定や、森林認証（森林の適正な管理を第三者機関が証明する制度）業務を担当しています。森林室から土地貸付などで照会があった際は、これまでの森林室での経験を活かし、応えていきたいです。

●印象に残っている業務

十勝森林室勤務の時に、浦幌町の消防署員と消防団員（普段は本業があり火災の際に出動する住民の方々）との消防演習に参加しました。管内で小規模な山火事が発生していたことから消防署が企画したもので、この演習では、消防団員の日々の訓練の成果を一般公開します。

森林室も、山火事が発生した際に空中から消火剤を散布する機材を保有しているため、演習に向けての訓練から参加しましたが、消防団員の動きや気迫に圧倒され、さらに演習本番では、多くの町民の方が見学に訪れ大変緊張する中、訓練どおりの動きができました。これを機に、山火事に対する心構えを再認識したほか、演習終了後の打ち上げで消防署員や消防団員の方々との交流をすることで、より信頼関係が深まったと感じました。

＼朝から晩まで神輿を担いで町内を練り歩く／



）休日の過ごし方

十勝の浦幌町にいた頃は、神社の神輿祭りに同僚と参加したり、ハマナスの植樹を体験したりしました。神輿祭りでは、浦幌町の方々とともに朝から晩まで神輿を担ぎ町内を練り歩いたことが印象に残っています。

子どもが小さく、家族で過ごすことが多かったので、十勝の美味しいものを食べ歩きたり、大自然の中でドライブしたり、隣の公宅に住んでいる同僚の家族と食事や温泉旅行に出かけたりして、とても楽しく休日を過ごしていました。

）同僚たちとの関係

道東の3森林室（オホーツク東部・十勝・釧路）では、毎年、対抗野球大会を行っています。採用されてすぐに先輩方に誘われ、大会に向けて練習を始めました。先輩方の中には野球経験者もいて、経験がなく運動も苦手な私に手とり足とり教えてくれたので楽しく続けられました。

就職して野球を始めるとは思っていませんでしたし、職場で野球を続けるとも思っていませんでした。長年続けても技術は全く上達しませんでした。練習や試合、打ち上げを通して同僚との交流が深められたことが良い思い出です。

＼野球大会に参加した職場の仲間と／



）異動を経験して…

私はオホーツクの北見市に約6年、十勝の浦幌町に約5年暮らしていましたが、各地域には数年暮らしていても回りきれないほどの観光スポットやイベントなどがあります。そこに暮らさないと気がつかない美味しいものなどもあり、引越しをしながら、道内各地域での暮らしを楽しむことができる機会になっています。

）今後どのような職員を目指していきたいか

道有林課の業務では、国・市町村・事業者から森林室に寄せられた案件や課題に、規則・通達や過去事例を基に解決策を検討することもあります。これまでの森林室勤務での経験や今の知識では、課題に答えきれていないと感じています。

今後も、他の森林室での勤務や道有林以外の林務行政などにも携わり、さらなるスキルアップを図り、課題や案件に迅速かつ的確に解決策を見出し、森林室や国・市町村・事業者から信頼される道職員になっていきたいです。

建設部建設政策局 建設管理課 工事管理グループ



H16.5* 釧路総合振興局 釧路建設管理部弟子屈出張所(採用)

↓
初任地は、維持係（施設保全室）として管内の道路や河川などの機能確保のための維持業務や冬期交通を確保するための除排雪業務などを担当していました。

H20.4* 釧路総合振興局 釧路建設管理部 中標津空港管理事務所 管理係

↓
中標津空港管理事務所では管理係として空港設備の使用や、制限区域内への立入や危険物の持ち込みなどに関する許認可業務、空港の安全確保に関する対策や訓練の企画立案などの保安業務などを担当していました。*現在の組織名で表記しています。

H22.4 釧路総合振興局 釧路建設管理部建設行政室入札契約課

↓
入札契約課では予算係として入札執行以降の契約事務に係る業務を、課内異動後は入札執行前までの入札事務に係る業務を担当しました。治水予算係

H26.4 石狩湾新港管理組合 総務部総務グループ兼議会事務局

↓
一部事務組合へ派遣となり、道などからの負担金の受入計画作成や入札契約事務、庁舎管理などの総務業務のほか、議会事務局として議会業務などを担当しました。

H29.4 建設部 建設政策局建設管理課 工事管理グループ(現職)

現在は、入札契約総合管理システムのプログラム修正などの運用業務やこのシステムで集約したデータを用いた各種資料作成などを担当していますが、入札契約課時代に実際にシステム入力していた経験が、各システム担当者とのやりとりの中で活かしていると思います。

●印象に残っている業務

初任地でもある弟子屈出張所時代に、弟子屈町の小学生を対象とした冬期通行止区間の雪割見学会を開催したことがありました。元々大勢の前で話をするのが苦手であったため、相手が小学生とはいえ、かなり緊張したことを覚えています。

しかし同時に、大型のバックホーやロータリ除雪車などを使って、豪快に雪を割っていく様子を見ていた子どもたちのとても楽しそうな姿は今でもとても印象深く残っています。ちなみに…雪割見学会の前に見学会場までの通行止区間のパトロールを行った際に、シカが道路を走っていたのですが、滑って何度もずっこけていた様子も違った意味でとても印象に残っています。

＼今も続けているアイスホッケー／



）休日の過ごし方

釧路建設管理部の時代に、職場にチームがあったこともありアイスホッケーを始めました。やる前までは正直あまり乗り気ではありませんでしたが、始めてみたら想像を遙かに超える楽しさがあり、「氷都釧路」の地の利も相まって、アイスホッケー漬けの日々を過ごしました。

また、初任地である弟子屈町は温泉の町ということもあり、すっかり温泉巡りにはまってしまい、道東にいる間は道東の温泉を中心に巡っていました。元々お湯に浸かるのはあまり好きではありませんでしたが、どうやら社会人になったら温泉とビールは身に染みるようです。

）同僚たちとの関係

釧路建設管理部に所属していたときには、前述のアイスホッケーのほか、肥満防止のためにもバドミントンや野球、ソフトバレーボールなどを始めたこともあり、普通に仕事をしているだけでは知り合わないような人とも出会い、公私共に充実した日々を送っていたと思います。いい大人が集まって朝までゲームに興じていたことも今では良い思い出です。

＼休日の温泉巡り！身に染みる～／



）異動を経験して

採用前に勤務地は弟子屈町と聞いて、正直不安がありました。実際に住んでみると温泉や圧倒的な自然の美しさにすっかり魅了されてしまいました。広大な北海道では、それぞれの地域の特色を持っているため、異動はそんな北海道の知らなかった魅力を発見できる良い機会だと考えています。

）今後どのような職員を目指していきたいか

北海道は広大な分、地勢的条件や気候、人口割合や基幹産業の違いなど、都市部には都市部の、地方には地方の、それぞれ違った特有の問題があるため、それらに対応するためにも、まずは自分自身が赴いた地域を積極的に知り、地域の声を理解し、的確に解決策を見いだせるような道職員になりたいと思います。



出納局会計管理室経理課 公金管理・国費グループ

主任

むら
村

おか
岡

あさ
麻

み
美

(29)

H18.5 ^{*} 渡島総合振興局 総務課 需品係 (採用)

初任地の渡島総合振興局では、総務課出納需品係に **→ 経理審査係(課内異動)** 配属され、最初は出納業務を担当しました。業務内容としては、各課が作成した支出伝票を財務システムで読み取る支払事務や、毎月の支出予定額の管理など、聞き慣れない言葉に戸惑いながら日々を過ごしていました。その後、経理審査係に移り、各課等の道費の支出内容が予算や法令等の定めるところによって適切に処理されているかなどを審査していました。

*現在の組織名で表記しています。

H23.6 上川総合振興局 地域政策部地域政策課 市町村係

会計部門から離れ、地域政策課市町村係で地方債や **→ 総務課 需品係** 地方交付税、地方税制度の担当となり、市町村の担当の方々とも知り合うことができました。その後、再び総務課に配属となり、今度は物品の購入や管理を行う需品係の仕事を担当するなど、振興局勤務では様々な業務を経験をしました。

H27.6 出納局 会計管理室経理課 公金管理・国費グループ(現職)

現在は、本庁の出納局経理課で国費事務を担当しており、国の各省庁から補助金などが道や市町村などに対して支払われる際に、各省庁の代わりとなって支払事務をしています。

繁忙期は3月から4月にかけてで、月の処理件数が平常時の5~10倍程度になります。中でも中旬から月末にかけての非常に短い期間で、かつ大量の書類を捌いていくため、いつも以上に集中力を要しますが、ここを過ぎれば一段落するので毎年気持ち良く5月の連休を迎えています。

●印象に残っている業務

国費事務に携わるということで、財務省主催の会計事務職員研修に参加し、約3ヶ月を東京の研修所で過ごしました。参加者のほとんどは国家公務員で会計事務に従事している方ですが、私のように国費事務を担当する地方公務員も少数ですが参加しています。通所ができない人は寄宿舎に入るのですが、こんなに長い期間共同生活を送ると自然と仲良くなるもので、講義が終わったあとは晩ご飯を食べに都内をあちこち巡り、地元の話や職場の話をして交流を深めました。講義は会計法をはじめ多岐に渡り、膨大な試験もあり、勉強が大変でしたが、苦楽を共にしたことで、研修が終わった今でもお互い連絡を取り合うような親しい関係を築くことができました。

＼あの有名な「青い池」！／



）休日の過ごし方

渡島勤務のときは週に何回も温泉に行っていました。函館は銭湯がほとんど温泉で、安い料金で温泉を堪能することができます。温泉好きの私にとって素晴らしい環境でした。上川勤務では少し遠出し、美瑛のきれいな丘や、富良野のラベンダー、十勝岳標高1200m以上にある絶景露天風呂など観光名所を巡りました。特に思い出深いのが美瑛町にある青い池で、季節や天気によって見え方が違うので、私も何度か行きました。池を見た帰りは近くの温泉に入るのがおすすめですよ。

＼東京研修中に食べたローストビーフ丼／

）同僚たちとの関係

職場は年齢層が幅広いですが、それを感じさせないほどみんな仲が良いと思います。経理課では定期的に焼き肉食べ放題へ行くのですが、お酒の飲み放題はつけず、毎回全員が限界へ挑戦しています。また、出納局全体で年1回ボウリング大会を開催しており、今年は経理課でも何度か練習を行い、本気で勝つために、チーム決めをしました。私自身は練習より少しだけ良いスコアを残すことができ、課としても2位に入賞、見事団結力を発揮できたと思います。



）異動について

転勤の魅力として、その地域の観光がしやすいのはもちろんありますが、仕事帰りにきれいな夕焼けの海を見に行ったり、動物園の年間パスを購入し何度も足を運んだり、その土地に住んでいるからこそ気軽にできることも沢山あると思います。やれることは精一杯楽しもうと、異動のたびに楽しみにしています。

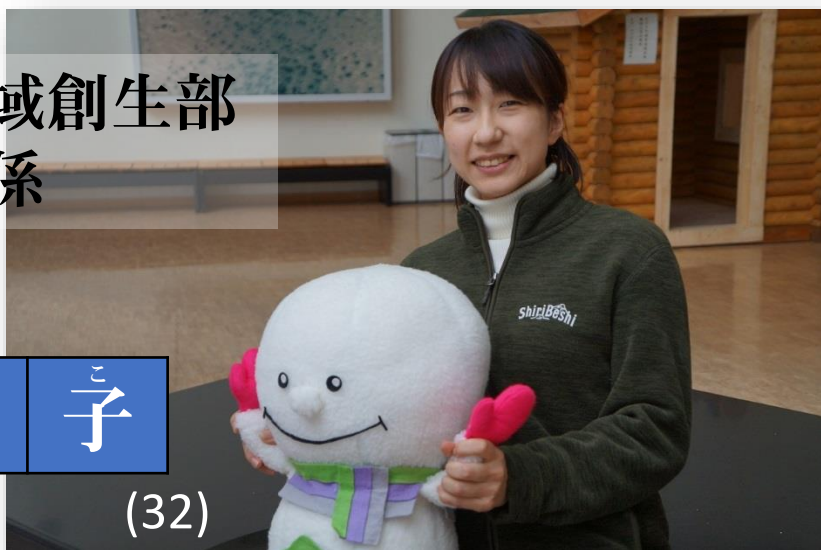
）今後どのような職員を目指していきたいか

各部それぞれ専門的な分野を担っていますが、どの部にも共通する業務の1つが会計事務です。何か事業を行うとき、大抵お金のやり取りが発生しますが、道が扱う収入や支出は、必ず法令等に基づいて執行されます。会計事務が初めてという方も多く、事業担当者が滞りなく事務処理ができるよう適宜助言などを行う場合もあり、縁の下の力持ちとして役立てたときは嬉しく思います。出納局は業務の成果が目に見えづらいかもかもしれませんが、頼りにされるよう知識や経験を積んでいきたいです。

後志総合振興局地域創生部 地域政策課市町村係

主	任			
飯	田	佳	奈	子

(32)



H24.10 保健福祉部 健康安全局地域保護課

感染症・特定疾患グループ（採用）

初任地では、予防接種業務を担当しました。補助金関係などの事務のほか、製薬・ワクチン関係会社とのやりとりを行い、ワクチン接種の必要性や予防接種が正しく実施されるための周知・助言等を行うという業務があり、この経験を通して、将来の道民の健康を守るという重要な役割があることを実感しました。

H26.4 保健福祉部 総務課 企画調整グループ

企画調整グループは、国や各都道府県が開催する会議の調整、内部の会議・照会等や要望活動への対応、統計業務など、担当業務は多岐にわたり、庁内外とのパイプ役という重要な役割を担っています。幅広く庁内各部の業務内容を知ることができ、たくさんの人と関わりながら仕事をするのが多かったため、とても楽しい2年間になりました。

H28.4 保健福祉部 高齢者支援局高齢者保健福祉課

次に、少子高齢化対策監の書記（秘書業務）を担当しました。スケジュール管理をはじめ、他部の書記とも情報共有をしながら様々な事態に速やかに対応できるよう整理を行い、特に「正しく伝えること」と「バランスをみること」を意識していました。道議会の対応は常に緊張感が伴いましたが、非常に刺激的で貴重な経験となり、職員の大先輩方を心から“カッコいい”と感じながら働いた1年になりました。

H29.4 後志総合振興局 地域創生部地域政策課 市町村係（現職）

現在、地方債や公務員制度、住民基本台帳や政治資金などを担当しています。地方債の業務では、市町村にとって必要な事業に起債が充てられるよう、市町村や本庁の方と一緒に関係法令や過去の事例等に基づき考えていくことに難しさややりがいを感じています。

本年度は選挙を経験したことが印象に残りました。選挙事務は通常業務と比べ、係員同士で協力して行う作業が多く、日頃担当している業務以外にも関わることができるというメリットがあり、大変充実した日々でした。

●印象に残っている業務

予防接種の業務を担当していた時、「風疹」が流行したことにより予防ワクチン不足が懸念されているという話があり、その対応として各都道府県において指針の作成を行うこととなりました。ワクチン関連企業、医療機関、医務薬務分野の職員や市町村等の理解を得ながら作成することができたのですが、この業務を通じ、会議の円滑な開催方法等を含む業務上での学びのほか、社会情勢を注視し不測の事態に備えて体制を整えること、関係者が共通の認識で対策を講じる必要性等、その業務を行うにあたっての心構えや関係者との密な連絡の重要さと難しさなど多くの事を学ぶとともに、そのやりがいを感じました。



）同僚たちとの関係

休みの日に振興局職員で地元のイベントやお祭りに参加する機会もあります。

中でも毎年8月に倶知安町で行われる「じゃが祭り」には振興局をあげて積極的に参加しています。振興局チームを結成し、大勢でダンスを踊る企画に参加するなど、年齢・役職問わず一つとなるその取組みは、学生時代に戻ったように熱く、爽やかな気持ちになります。個人的には、当日はもちろんのこと、前日までの練習の時間も含め、他の職員の仕事とは違った一面が見られるということが密かな楽しみの一つでもありました。

）休日の過ごし方

週末は管内の市町村を中心に車で出かけることが多いです。後志では地域創生部長を中心に、後志管内市町村の魅力とPR要素満載で地域への愛が詰まった映画作成を行っており、この取組に関わることで多くの有名な観光スポットから地元の人のみが知る穴場スポットまで、管内様々な場所に同行させてもらっています。

山も海もあるこの土地に来て、自然を体験する遊び方ができ、「食べる楽しみ・見て触れて体験する楽しみ」を再発見できる週末に大満足しています。

＼振興局をあげて「じゃが祭り」に参加！



）異動を経験して…

転勤するまでは異動先で楽しく過ごせるか、多くの不安がありました。今は、休日に友人らが札幌や道外から遊びに来た時、管内市町村を案内しながら巡る時間になんとも言えない楽しさや喜びを感じており、生まれ育った場所以外にいくつもの”紹介できる町”ができることが転勤のメリットだと実感しています。

道内全域、異動した先々で魅力を見つけることができる、そんなチャンスがたくさんあると感じることができれば転勤はとても楽しいものになると思います。

）今後どのような職員を目指していきたいか

同じ道庁で働く職員といっても、担当する業務は多岐にわたっているため、様々な魅力ある仕事があり、魅力ある職員がいます。部や課といった所属を超えるとそこは必要とする知識や技術が全く違うことも多いと感じます。

本庁では、部を超えて職員同士で積極的に交流できる場がいくつもあり、幅広くいろいろな情報を得られる機会に参加したことで人とのつながりができました。また、議会関係業務等、日々新たな驚きと刺激ある業務で学んだことも多くあります。

また、振興局においては、市町村の方や地域の方をより近くに感じながら仕事をする必要があると感じると同時に、市町村の職員が行っている業務をより具体的にイメージしながら仕事ができる環境にあると思います。

今後、本庁と振興局の勤務を通じ、多面的な視点で仕事ができる職員に成長していきたいと思っています。

オホーツク総合振興局 網走建設管理部建設行政室 建設指導課



主任

よしむら
吉村いおり
伊織

(31)

H17.5* 宗谷総合振興局 稚内建設管理部建設行政室建設行政課

最初の勤務先では、職員の給与、服務制度、旅費や時間外勤務に **総括係(採用)** 関する業務などを担当しました。高校卒業後の最初の仕事で、右も左も分からず不安でしたが、上司や先輩は優しい方ばかりで、手取り足取り教えていただきました。総務の仕事ということもあり、道職員、社会人としての基本を、仕事で学ぶことができました。

H20.4* 宗谷総合振興局 稚内建設管理部用地管理室用地課

用地課では、公共事業に伴う土地買収や建物移転等の補償に関する業務（権利者の相続調査や契約交渉等）をしていました。土木に関わる専門的な仕事で、最初は周囲の職員が何を言っているのかも分からない状況でしたが、勉強しながら仕事をしていると、だんだん理解できるようになりました。
*現在の組織名で表記しています。

H22.4 宗谷総合振興局 稚内建設管理部事業室事業課 施設保全室

事業課と管理課では、道路や河川など **→用地管理室管理課 管理第一係** の管理業務を担当しました。管理業務とは、「道路に物を設置したい」という方からの申請に対する窓口対応や審査などの許認可事務や、道路や川の施設の損傷・不法投棄の有無を監視するパトロール業務などのことです。

H27.6 オホーツク総合振興局 網走建設管理部用地管理室 維持管理課→建設行政室建設指導課 土木係(現職)

現在は建設業の許認可事務などを担当しています。初めての分野のものですが、私は道民の方と直接関わる仕事の経験が長いので、許認可事務の窓口対応などで宗谷の経験を活かしています。前の勤務地での経験が活かせる、これが道職員の強みです。住民の方からの相談の多さによって仕事の忙しさはだいぶ変わります。厳しいご意見・ご要望を頂くこともあり、解決まで時間を要することで、かなり忙しくなることもあります。自分の組織を見つめ直し改善する良い機会であり、また対応結果によっては感謝のお言葉をいただけることもあるため、これが忙しさを乗り切る原動力となります。

●印象に残っている業務

宗谷の事業課時代、管内が記録的な暴風雪に見舞われたことがありました。事業課は道道の除雪や通行規制を行う部署でもあるため、この日の職場はまさしく戦場！交通網は寸断され、稚内市はまさしく「陸の孤島」。刻一刻と変化する道路の情報に加え、住民の方から雪に埋まった車の救出や除雪の要望などの電話が鳴り続け、事務所の電話回線は常にパンク状態。さらに、事業課は郊外の単独庁舎のため、一度出勤したら最後！周辺の道路は雪に埋もれ、天候が回復し除雪が完了するまで帰宅できませんでした。

しかし、この業務があったからこそ、管内の道路名や地名をすぐに覚えることができましたし、反省点をその後の防災対応に活かしました。電話対応も上手になったと思います。多くのことを学べた数日間でした。

＼家族とイベントに参加！／



）休日の過ごし方

結婚前はよく地域の方々や同じ庁舎の人たちと一緒に趣味のテニスをしていました。現在は子供がまだ4歳と0歳のためあまり遠出はできませんが、家族で地域のお祭りに行ったり、近所の公園に行ったり、お散歩したりしています。年に1回程度は、家族みんなで近くの温泉宿に泊まっています。

転勤のおかげで、毎年行き先には困りません！子供たちも初めて行くお祭りや宿、公園などは、とても楽しみにしています。

＼笑顔で対応します！／



）同僚たちとの関係

振興局ではボウリング大会などのレクや、地域イベントの手伝いがあり、結婚前は特に積極的に参加していました。同じ職場の方々と一緒にこうした行事に参加することで、職場内の絆が深まります。

また、北海道庁は大きい組織ですので、庁舎は同じでも課が違う人とは知り合う機会がありません。しかし、レクなどをきっかけに知り合い仲良くなると、その人と仕事で関わりができた時に、仕事がやりやすくなることもあります。

）異動を経験して・・・

地域が違えば気候や風土も異なりますので、同じ業務でも、道民の皆様からの要望の傾向が違ったり、前の勤務地では経験できない事案があったりと、異動により気付かされること、勉強になることが大変多く、北海道職員としての自分を成長させてくれました。また、異動のおかげで今まで知らなかった街やイベントに行くこともできます。いろんな街を巡ることができるため、まるで旅行気分、色々と飽きません。知らない街も「住めば都」です。私は岩見沢出身で初任地は稚内。最初は「最果ての街」のイメージでしたが、とても住みやすい街でしたよ！

）今後どのような職員を目指していきたいか

「外部・内部両方から頼りにされる職員」です。特に許認可業務で、道民の方からも職員からも「この人に聞けば間違いない！」なんて思われるようになったら最高ですね。また、我が家は妻も道職員で夫婦共働きのため、2人で協力し家事育児を行っています。これからは夫も妻同様の家事育児をする時代です。私は今の経験を活かし、今後、子供がいる後輩や部下ができたときに良い助言などができる職員にもなりたいですね。

釧路総合振興局産業振興部 農務課生産振興係

主	任		
いし	づか	たか	ひろ
石	塚	隆	浩

(31)

と
根釧酪農応援キャラクター
『ビジョンちゃん』



H24.4 水産林務部 林務局治山課

保安林・林地開発規制グループ(採用)

治山課では、保安林制度に係る許認可や、業務用システムの開発委託業務、森林の価格算定調査（年間に計4週間は山の中で木の直径や樹高を測ります。）などを担当しました。特にはじめの頃は分からないことだらけで、専門用語は漢字の読み方も分からない状況で、振興局からの問合せの度に周囲の先輩に聞きながら業務を進めていました。上司や先輩、同僚に助けられながら身につけた、「常に自分の仕事が道民の福祉（幸福）にどのようにつながるのかを意識する」という考え方は、現在の配属先でも活かされていると思います。

H27.6 釧路総合振興局 産業振興部農務課 生産振興係（現職）

現在は、農畜産物の生産振興に携わっています。最初の2年は馬鈴しょの検査や農作物の生育状況調査といった農産物を中心に、3年目の今年は酪農や肉牛等の畜産関係も担当するようになりました。一口に農業行政と言ってもその内容は多岐に渡るため、本庁では農政部内の各課がそれぞれの専門業務を行っていますが、それらを幅広く経験できることが振興局の大きな魅力だと思っています。

また、地元市町村や農協、ときには農家さんから地域の声を直に聞くことができ、それを踏まえて仕事ができるということは振興局業務の大きなやりがいだと感じています。

●印象に残っている業務

現在も鋭意取り組んでいる最中ですが、鳥インフルエンザ等の家畜伝染病に対する防疫対策の業務が印象に残っています。清水町での発生の際には、私は現地へは行きませんが、隣の十勝管内での発生ということで、釧路管内での万一の発生に備えて作業をしていました。

家畜伝染病の防疫対応は「発生源を早期に封じ込める」仕事であり、人手が非常に多く必要になり、また様々な部署の専門的な知識も必要となるため、まさにオール北海道での対応が求められています。現在は、発生の未然防止と万一の発生に備えた体制整備を進めていますが、こういった「あらかじめの対策」に力を注げるというのは行政だからこそできることだと思い、取り組んでいます。



）同僚たちとの関係

本庁時代に知り合った各振興局の人や、同期採用の職員が全道あちこちにいるので、お互いの出張や地域イベントの時などに会ったり、それぞれの地域に関する情報を交換したりすることが楽しみになっています。自分の住んでいない地域の人とつながるきっかけがあることは、道職員になって良かったと思うことのひとつです。

現在の職場では、恒例(?)の係員のお誕生日会をしたり、地域のイベントに同僚と参加したりと、仕事だけでなく遊びでも職場の方々にお世話になり、一緒に楽しんでいます。振興局として参加している「くしろ市民北海盆踊り」には課の同僚と3年連続参加しており、土砂降りの中を30分ほど踊り歩いて結局中止になったことは、多分一生忘れられない思い出です。

）休日の過ごし方

イベントごとが好きなので、お祭りがあれば遊びに行っています。釧路に来て驚いたのはお祭りの多さで、6月末から10月頃までは毎週のようにお祭りがあります。その中でも特におすすめなのは「釧路大漁どんぱく(花火の「どん」、美味しいものを「ぱく」で「どんぱく」です)」で、名物の三尺玉大花火は遠くから見ても電線が揺れる程の迫力で、その大きさと釧路川に映える美しさは本当に感動します！

また、釧路は道東4振興局の中心に位置しているため、少し足を伸ばして十勝やオホーツク、根室といった道東の他の地域にも行っています。十勝の音楽フェスに2年連続で参加できたのはとても良い思い出です。

＼鳥インフルエンザの説明会を開催した様子／



）異動を経験して・・・

私はまだ一度しか転勤を経験していませんが、同じ北海道でも気候や文化がこんなに違うのか！という驚きを日々楽しんでいます。特に食文化の違いでは、緑色のお蕎麦や、アメリカンドックに砂糖をつけて食べる食文化に、はじめはとても驚きましたが、いまはどちらも大好きです。

道職員は数年に一度は転勤がありますが、逆に数年しかいられない場所を精一杯楽しもうと思ひ、その地域ならではのイベントや食べ物や風景を見つけられるように意識しています。

）今後どのような職員を目指していきたいか

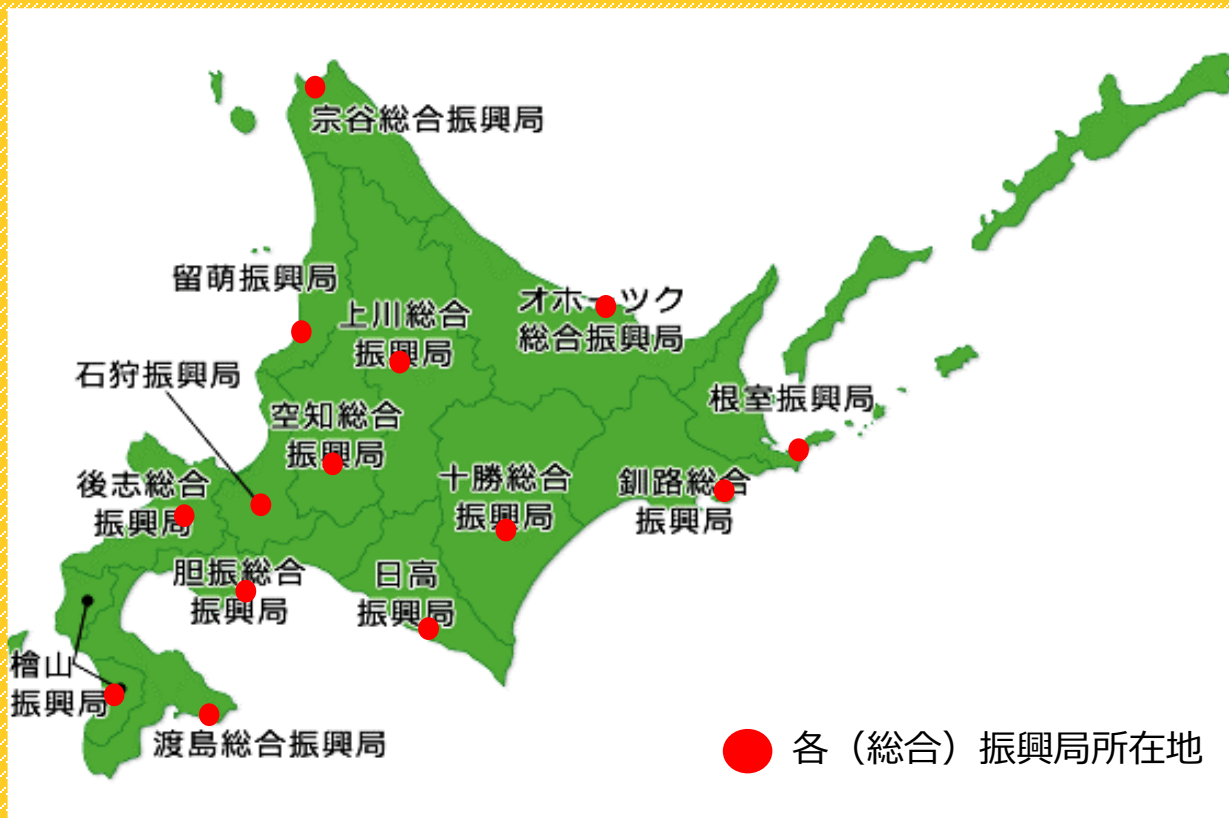
農務課(生産振興係)の仕事は、市町村や農協といった地域の方々と一緒に仕事をすることが多いですが、農政部にはより現場に近いところで高い専門性を発揮する農業改良普及センターや家畜保健衛生所といった組織があり、その力を借りたり一緒に取り組んだりすることが必要な場面が多くあります。

また、一つの問題を解決するために、課を横断した対応が必要な場合や関係機関との連携が必要な場合もあります。それぞれに所属する組織や所掌事務、得意分野が異なる者同士が上手くつながることで、地域にとってより大きな効果を生むことができると考えているので、人とのつながりを大切に、地域に貢献できる職員になりたいと考えています。



その先の、道へ。北海道

HOKKAIDO, EXPANDING HORIZONS.



道職員活躍事例集（中堅職員編）

平成29年12月

北海道

【ご意見などがありましたらこちらまで】

北海道総務部人事局人事課人事グループ

電話：011-204-5078

FAX：011-221-6399

Email: somu.jinji10@pref.hokkaido.lg.jp